

# 第1回伊勢志摩サミット東海三県一市担当課長会議

## 事項書

日時：平成27年10月8日（木）

15:00～16:00

場所：公益財団法人 愛知県国際交流協会

アイリスルーム

### 1. 開会

### 2. 議題

(1) 伊勢志摩サミットにかかる三重県の取組状況

(2) 東海三県一市の取組に関する要望について

(3) 東海三県一市で連携する取組の検討について

(4) 今後のスケジュールについて

### 3. 閉会

#### 【配布資料】

- ・資料1：伊勢志摩サミットにかかる三重県の取組状況
  - ・資料1-2：伊勢志摩サミット三重県民会議事業計画
  - ・資料1-3：伊勢志摩サミット開催に向けた広報全体計画
- ※資料2～4については、非公表とします。

## 第1回伊勢志摩サミット東海三県一市担当課長会議 出席者

区分	所属機関名	役職	氏名	備考
愛知県	政策企画局国際課 2016伊勢志摩サミット対策室	室長	川原 騒	
	政策企画局国際課 2016伊勢志摩サミット対策室	室長補佐 (儀典・調整グループ)	米山 一記	
	政策企画局国際課 2016伊勢志摩サミット対策室	室長補佐 (魅力発信グループ)	本庄 俊和	
岐阜県	清流の国づくり政策課	管理調整監	梅本 雅史	
	秘書課 分権・広域企画室	室長	兼松 伸和	
名古屋市	総務局企画部企画課	課長	難波 伸治	
	市民経済局文化観光部	主幹	大島 吉清	
	総務局企画部企画課企画係	係長	渡辺 孝彦	
三重県	戦略企画部政策提言・広域連携課	課長	笠谷 昇	
	雇用経済部観光局観光政策課	課長	河口 瑞子	
(事務局)	雇用経済部伊勢志摩サミット推進局	次長	大橋 范秀	
	雇用経済部伊勢志摩サミット推進局 サミット総務課	副参事	佐々木 光太郎	
	雇用経済部伊勢志摩サミット推進局 サミット開催支援課	課長	岩本 弘一	
	雇用経済部伊勢志摩サミット推進局 サミット事業推進課	課長	小川 悟	
	雇用経済部伊勢志摩サミット推進局 サミット総務課	企画班長	中出 真人	
	雇用経済部伊勢志摩サミット推進局 サミット総務課	主事	川本 大	
オブザーバー	外務省伊勢志摩サミット準備事務局	課長補佐	鈴木 孝宏	
	財務省東海財務局総務部総務課	課長	林 敬治	
	中部経済産業局総務課	課長	植木 健司	
	中部経済産業局総務課	課長補佐	浅井 敏介	

# 1 三重県の取組

## (1) 伊勢志摩サミットの成功に向けた取り組み

富はそれ。  
せんぶ三重  
なんす！

伊勢志摩は、「日本の美しい自然」  
「豊かな文化、伝統」  
「日本のふるさとの情景」  
「大小の島々、美しい入り江」  
「日本の精神性」  
に触れていただけある場所です。  
三重県ならではの「おもてなし」で、  
世界の皆様をお迎えいたします。



2016年5月26日・27日  
伊勢志摩サミット開催！

### 三重県のねらい

#### ○サミットを安全・安心に開催

○伊勢志摩・三重県の知名度向上や  
国際観光地としてのレベルアップ  
のみならず、地域の総合力向上に  
つなげる

○サミット開催による効果を県全体に  
波及させる

○サミット開催を一過性のものとせず、  
次世代にサミットの資産を残す  
取組を行う

### 推進体制

#### 伊勢志摩サミット三重県民会議



#### 三重県伊勢志摩サミット推進本部



- ・官民一体となつた三重県全体の受け入れ体制を確立
- ・産業・経済、観光、教育、文化、国際交流等
- ・会員114団体

- ・府内横断組織として設置
- ・推進本部のもとに、防災・危機対策委員会、保健・医療対策委員会を設置

# 1 三重県の取組 (2) 4つの柱に基づく事業展開

県民会議を中心として、県内市町や関係団体等と連携し、「開催支援」に取り組むとともに、地域の総合力の向上につなげるため、「おもてなし」、「明日へつなぐ」、「三重の発信」を柱に、サミット開催に向けた全県的な取組を展開

## 開催支援

- ・警備の充実
- ・配偶者プログラム
- ・公式行事に伴う歓迎交流

〔ほか〕

- ・配偶者プログラム
- ・三重県の魅力が盛り込まれるよう、国に提案予定



## 明日へつなぐ

- ・ジュニアサミットにおける高校生等の国際交流

〔ほか〕



## 4つの柱

## おもてなし

- ・サミットフォーラム
- ・花いっぱい運動
- ・クリーンアップ運動
- ・接遇研修

〔ほか〕

- ・イベントの実施、接遇研修の開催等、物心両面からおもてなしを向上



## 三重の発信

- ・プレスツアーの開催
- ・シンボルマークの制定

〔ほか〕

- ・各種イベント等、あらゆる機会を通じた情報発信



- ・ジュニアサミットで取り上げられる国際問題を子どもたちの視点で議論

中山外務大臣にジュニアサミット  
三重県開催を要望(H27.8.5)



# 2 東海三県一市の取組

## (1) 国の取組

### 首脳会議の開催に向けた国の動き

#### 1 組織・体制

##### ①内閣官房

「伊勢志摩サミット準備会議」(7/6)

・広報部会 (7/8)

・警備対策部会

「伊勢志摩サミットロゴマーク選考会」

・審査委員会懇談会 (9/2)

##### ②外務省

「伊勢志摩サミット準備事務局」(6/12)

##### ③警察庁

「伊勢志摩サミット等警備対策委員会」(6/12)

##### ④消防庁

「消防庁伊勢志摩サミット等対策準備本部」(6/15)

##### ⑤国土交通省

三重県内6事務所

「伊勢志摩サミット支援室」(7/24)

##### ⑥東海財務局

「伊勢志摩サミット協力連携室」(7/27)

##### ⑦名古屋税關

「名古屋税關伊勢志摩サミット対策本部」(6/24)

#### 2 主な取組

##### ①警備

- ・航空法の改正
- ・小型無人飛行機の飛行の禁止に関する法律

##### ②予算要求(サミット関連施策のH28年度概算要求)

・外務省(会議運営等)

参考: 北海道洞爺湖サミットでは255億円  
(H19年度予備費、補正予算、H20年度当初予算の合計)

・警察庁(警備の装備等)

・海上保安庁(警備機材等)

・総務省(消防・救急体制確保)

・公安調査庁(テロ関係情報収集)

など

## 2 東海三県一市の取組 (2) 官民の役割と連携

国

首脳会議の運営

開催支援

「オール三重」の取組

※内閣官房:関係府省庁が緊密な連携を行つ  
図り、政府全体の総合調整を行う  
「伊勢志摩サミット準備会議」を開催

岐阜県  
愛知県  
名古屋市

連携

三重県の事業  
県が主体

県内市町の事業  
市町が主体

企業・団体等との協賛事業

伊勢志摩サミット

三重県民会議事業

県民会議が直接行う事業  
(開催支援、おもてなし、明日へつなぐ、三重の発信)

寄附金等

応援事業  
(主体=企業等)

企業・団体・個人からの  
金銭による県民会議事業  
への支援協力  
(県民会議で受入対応)

協賛

企業・団体が県民会  
議事業において活用す  
る物品等の提供を  
通じて支援協力



## 2 東海三県一市の取組（3）行政としての取組

### 構成自治体への協力依頼

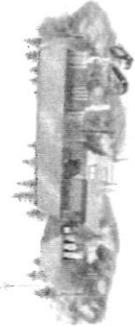
- 警察、消防、医療等の要員確保、体制整備、警備等の具体的活動の実施 など
- 中部国際空港や主要駅の使用及び関連規制、公共交通機関の利用に関する協力 など

まはそれ、  
ぎふ三重  
なんす！

### 共同・連携事業

#### （1）国等への提言・要望

- サミット開催にあたつて必要となる警備、消防  
社会資本整備等に関する財政支援  
(今後のサミット開催におけるスキーム確立)



洞爺湖サミットにおける  
ゼロエミッションハウス

- 次世代自動車やMRJ等の  
東海地方のものづくりの最新  
技術をPRする拠点の設置  
(国際メディアセンター内に要望)

- サミットテーマや東海地方の特性に関連する  
国際会議の誘致 (例: WAW!、ビジネスサミット)

#### （2）構成自治体で連携した取組

##### ○出迎え、イベント

中部国際空港や主要駅でのカウンターダウン  
ボードやインフォメーションセンターの  
設置や歓迎行事など

- 周遊・滞在型の旅行商品の開発  
セントレア観光案内所  
公式行事等に用いたコンテンツを活かした旅行商品の共同開発



IMEX America 2014  
(MICE専門見本市)

- 他の関係閣僚会合開催地（富山、長野等）との連携  
OMIC E誘致に向けた取組  
MIC E博への出展等
- 東京における東海三県一市唯一の  
情報発信拠点「三重テラス」を  
活用したプロモーションキャンペン

### 東海三県一市担当課長会議の設置を提案

### 実践及び情報共有

- ・行政の取組に呼応し、サミット開催という干載一遇の  
チャンスを活かした民間団体・企業等による取組を期待  
・官民あげた取組により、東海地方の総合力アップ！

### 民間に期待すること



平成27年10月8日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

## 伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画

### 1 「開催支援」に関すること

#### ◆ 伊勢志摩サミット宿泊予約センターの設置

サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊に関するサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行う伊勢志摩サミット宿泊予約センターを設置する。

#### ◆ 配偶者プログラムの提案

首脳会議が1泊2日で予定されていることから、その期間内で実施することを想定し、テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討し、三重県の魅力がプログラムに盛り込まれるよう、国への提案を行う。

#### ◆ 県産食材等の利用促進に向けた取組

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案する。

#### ◆ 弁当供給体制の整備

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供するための体制を整備し、関係者用の受注窓口を設置する。三重県産食材の使用も含めて検討を行う。

#### ◆ インフォメーション機能の整備

世界各国からの来訪者をおもてなしの心でお迎えするため、外国語案内ボランティアを幅広く募集し、地元市町・団体等との協力により、空港や駅等における移動支援・観光案内等のインフォメーション機能を提供する。

#### ◆ 輸送サービスの円滑な提供

関係者の円滑な移動のため、バス等の移動手段の運行に係る協力、支援を行う。

◆ 警備関係への協力や住民への情報提供

地元市町等と調整のうえ、住民懇話会を開催し、サミットに関する情報を、地元関係団体・住民に提供し、伊勢志摩サミット開催に対する理解促進と機運醸成、警備体制の理解を求め、住民が有する疑問や課題の解決を行う。

◆ 公式行事に伴う歓迎交流

空港等における歓迎行事や歓迎レセプションを国等と連携して実施し、来県する各国首脳等に、歓迎の意を表明する。

県民（特に子どもたち）が各国首脳と触れ合う機会をつくるため、交流行事を検討する。

◆ 伊勢志摩サミットの開催機運を盛り上げるためのレセプション開催

サミット関係大使館等を招き、サミットの開催機運を盛り上げるとともに三重の魅力を伝えるため、レセプションを開催する。

## 2 「おもてなし」に関すること

◆ 機運醸成に向けたサミットフォーラムの開催

伊勢志摩サミットへの理解を深め、開催機運を醸成するため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」などを県民とともに考えるサミットフォーラムを開催する。

◆ クリーンアップ活動・花いっぱいおもてなし運動の実施

世界各国からの来訪者に対し、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わるため、全県的に環境美化・清掃活動、飾花運動を行う。キックオフイベントを行うことで県民参加による伊勢志摩サミット開催の機運醸成や参加意識の向上を目指す。

◆ カウントダウンボード、ノベルティを活用したPRの実施

伊勢志摩サミットに向けて、協賛事業も活用しながら県内外の各地にカウントダウンボードを設置することで、伊勢志摩サミット開催の機運醸成を目指す。

関係閣僚会合や三重テラス等PR効果の高い県外でのイベントや三重県で開催される全国大会等において、ポストカード等の各種PRツールを用いて幅広く周知を行う。

#### ◆ おもてなし向上研修などの実施

世界各国からの訪問者に満足いただけるおもてなしを行うとともに、国際観光地としてレベルアップのため、外国人接遇研修の実施や、外国人接遇用のハンドブックの制作・配布を行う。

### 3 「明日へつなぐ」取組に関すること

#### ◆ ジュニアサミットの開催

三重の魅力の発信や明日へつながる交流を残すため、ジュニアサミットの県内開催を要望し、開催決定した際には、三重県の独自性を生かすとともに、県内高校生が参加者と交流できる機会を可能な限り設定したプランを国に提案する。

#### ◆ 多様な主体における国際理解・国際交流事業の開催

サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供する。特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとすることで、明日を担う世代の育成を目指す。

### 4 「三重の発信」に関すること

#### ◆ シンボルマークの制定

県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民が自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで伊勢志摩サミット開催の機運醸成を行う。シンボルマーク作成にあたっては、北勢きらら学園在校時の作品が 2008 年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用された近藤氏に依頼し、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信する。

#### ◆ ロゴマーク募集事業への協力依頼

伊勢志摩サミット開催の機運醸成のため、県内学校等に向けて国のロゴマーク募集事業への積極的な協力を依頼する。

#### ◆ ホームページ、SNSでの発信

ホームページ、Facebook、Twitter を活用し、県民会議の取組、三重の魅力やサミットに向けた情報を効果的に幅広く発信する。

◆ ポスター、リーフレット、チラシ等によるPRの実施

伊勢志摩サミット開催の機運醸成と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする「伊勢志摩サミット 2016」ポスターを第5弾まで作成し、多くの人々に伊勢志摩サミットの三重県開催のPRを実施する。

◆ プレス等を活用した情報発信

国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供し、三重県ならではの体験や三重県の多彩なコンテンツを体感いただき、三重県の魅力を国内外へ発信することで、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透を図るため、プレスツアー等を実施するだけでなく、プレスツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催する。

◆ 三重県情報館（仮称）の設置

国際メディアセンター内に、国内外から来県する多数の報道関係者等を通じて、三重県の魅力を国内外に発信するための拠点として「三重県情報館（仮称）」の設置を要望し、日本の中の「地方」の代表として三重県の伝統・文化、食、技術などの魅力を発信する。

◆ 三重テラス、関西事務所など県外でのイベント等の展開

伊勢志摩サミット開催及び開催地である三重県の全国的な発信のため、三重テラス等にて、2016年伊勢志摩サミット開催に向けたイベント等を展開するとともに、関係閣僚会合開催県と連携を図り、双方のPRを行う。

◆ 海外ミッションの機会等を利用したPRの実施

三重県での伊勢志摩サミット開催をアピールするとともに、三重県の知名度向上を図るため、県が主催する海外ミッションにおいて伊勢志摩サミットに関するPRを実施する。

平成 27 年 10 月 8 日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

## 広報全体計画について

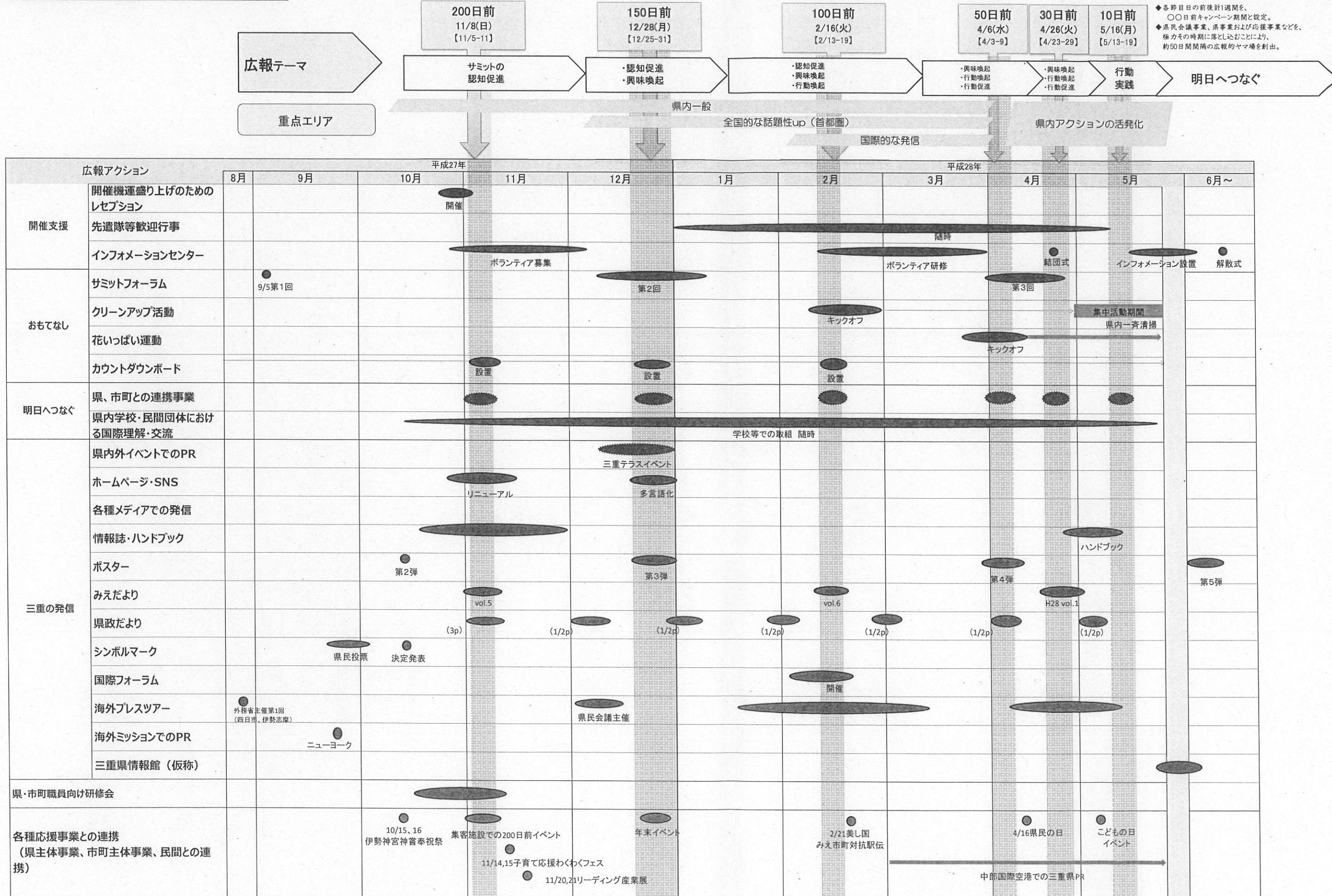
### 1 基本的な考え方

- ◆今後の広報計画全体を、以下の考え方で展開したい。
  - ①県内外の一般およびプレス関係者など全てのステイクホルダーにとって分かりやすい、開催までの節目日（200 日前、100 日前等）を展開軸とする。
  - ②節目日を含む概ね 1 週間を、「〇〇日前ウィーク」と設定。県および県民会議の自主事業や市町連携事業さらには応援事業等の広報要素を、「〇〇日前 ウィーク」の中に束ねる計画としていく。
  - ③およそ 50 日間隔の「広報・発信のリズム」「広報のヤマ場」を創ることにより、広報のテーマ浸透や県民参加などの各種活動を活発・推進させたい。
  - ④上記に合わせて、各部局および県内企業の独自事業についても、各節日期での開催を呼びかける。

### 2 各節目時期の主な活動（※調整中の案件を含む）

- ◆200 日前（2015 年 11 月 8 日（日））<200 日前ウィーク；11 月 5～11 日>
  - ・（協賛事業ほか）カウントダウンボード一斉設置（東海 3 県 1 市も検討）
  - ・（応援事業）新聞・T V 等でのカウントダウンスタート
  - ・（応援事業）県内集客施設での 200 日前イベント
- ◆150 日前（12 月 28 日（月））<150 日前ウィーク；12 月 25～31 日>
  - ・第 2 回サミットフォーラム
  - ・三重テラスでのイベント
  - ・公募デザインによる第 3 弹ポスター（おもてなしの心）掲出開始
  - ・その他県内年末イベントとの連携
- ◆100 日前（2016 年 2 月 16 日（火））<100 日前ウィーク；2 月 13～19 日>
  - ・国際フォーラムの開催
  - ・「美し国みえ市町対抗駅伝」での PR（2 月 21 日（日）、津～伊勢）
  - ・クリーンアップ活動キックオフイベント（東海 3 県 1 市も検討）
- ◆50 日前（2016 年 4 月 6 日（水））<50 日前ウィーク；4 月 3～9 日>
  - ・第 3 回サミットフォーラム
  - ・4 月 16 日「県民の日」イベント
  - ・公募デザインによる第 4 弹ポスター掲出開始
  - ・花いっぱい運動飾花キックオフイベント
- ◆30 日前（2016 年 4 月 26 日（火））<30 日前ウィーク；4 月 23～29 日>
  - ・こどもの日イベント
- ◆10 日前（2016 年 5 月 16 日（月））<10 日前ウィーク；5 月 13～19 日>
  - ・県内一斉清掃活動





資料1-3別表

